

留学生の受け入れは、 これからの事業展開に 必要不可欠

西濃運輸 株式会社
**カク ジョセリン
アカさん**

出身大学：岐阜協立大学
経営学部 卒業
出身国：コートジボワール
在日期間：11年
担当業務：法人営業



採用活動・採用担当者に受け入れの姿勢が必要

私が小学生の時に、歴史の授業で日本の経済復興について学び、日本そのものに興味を持つようになりました。また父親が日本で働いていたこともあり、高校卒業後、日本に来日し、岐阜協立大学に進学しました。就職活動ではイベントに積極的に参加して、企業情報の収集に励みました。当時住んでいた岐阜というエリアを中心に、事業性や業界研究をしながら企業を絞っていきました。西濃運輸株式会社に入社を決めたのは、イベントでの対応が明らかに他社とは違ったからです。5年前はイベント会場に外国人が数人という状態であり、採用担当者もどう声をかけようか迷っていたのかと思います。また試験は日本語表記しかなく、何を質問されているかもわからないこともありました。私は在学中にN1レベルまで日本語能力を上げましたが、日本語でコミュニケーションがとれることを前提とした採用活動に苦労しました。そんな中、当社の採用担当者は声をかけてくださり、親身に話を聞いていただけました。その印象で、この会社は留学生を受け入れる体制があると感じました。

入社後、苦労したことの一つに「ビジネスマナー」があります。日本人の行間を読むコミュニケーションと私たちのシンプルにストレートに伝えるコミュニケーション。場合に応じて使い分ける必要があるということを知り、上司の指導のもと、現在も勉強しています。

今後は、留学生という立場を生かした業務をしたいと思っています。当社は日本企業が海外に事業展開する場合の支援と、海外企業が日本で事業展開する場合の支援をしていますが、言語だけでなく文化の違いを理解しているからこそその提案ができると自負しています。海外と日本の架け橋という役割を担える人材を目指して、頑張っていきたいと思っています。



留学生だからこそ、キャリアプランをしっかりと立てる

(課長 木野村武史さん)

人事部の配慮もあるとは思いますが、当部署に配属される留学生の方は、コミュニケーションをとることに前向きな方が多く在籍しています。「好きな食べ物は何か？」という日常の会話をとることからしっかり行うことで、言語を越えた信頼関係が構築できています。営業は企業の最前線であり、お客様と直接会話をします。部署に在籍する複数名の留学生全員がN1の日本語能力があるわけでもありません。言語はツールであり、お客様とどう信頼関係を構築していくのかということが大事だと思いますし、それができるように指導していくのが部署や上司の役目であると考えています。

当社では、留学生の方に伸び伸びと働いてもらうために、「キャリアプランの作成」に力を入れています。将来どうなっていきたいのかを明確にしなが、短期、中期、長期とやるべきことを数字も交えて落とし込んで作ることが定着に繋がると考えています。留学生の方は日本人以上に、目的意識を持って意欲的に働いているからこそ、この点はこれからも大事にしていきたいと思っています。



西濃運輸 株式会社
<https://www.seino.co.jp/>

〒503-8501
岐阜県大垣市田口町1
tel : 0584-82-5091
fax : 0584-82-5042

事業内容

貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業、倉庫業、航空運送代理店業、通関業、国際複合一貫輸送事業

設立年月日

1946年11月1日

資本金

1億円

従業員数

13,212名(男性12,621人、女性630人)

売上高

2,842億円(2020年3月期)

海外現地法人・関連工場

有(インドネシア、タイ)

海外取引

有(インドネシア、タイ)

外国人留学生採用実績

7名(男性2名、女性5名)

国籍：コートジボワール、中国、韓国、タイ等